

原子力施設等におけるトピックス
(令和5年7月10日～7月16日)

令和5年7月19日
原子力規制庁

○令和5年7月10日～7月16日の間に発生した以下の法令報告事象に該当する事案は、下表のとおり。

- 原子炉等規制法第62条の3又は放射性同位元素等規制法第31条の2に基づく報告事案(発生に係る報告に限る)

発表日	事業者名	事業所名	件名	備考
			該当なし	

○主要な原子力事業者(*)の原子力事業所内で令和5年7月10日～7月16日の間に発生した以下に該当する事案は、下表のとおり。

- 保安規定に定める運転上の制限(LCO)から逸脱した事案
- 原子炉等規制法第62条の3に基づく報告事項に該当しないが安全確保に関係する事案で、事業者がプレス公表したもの

*……原子力発電所を所有する電気事業者、日本原子力研究開発機構及び日本原燃株

発表日	事業者名	事業所名	件名	備考
			該当なし	

<参考> 海外の原子力施設におけるトピックス

該当なし

<その他>

・東京電力ホールディングス株式会社 柏崎刈羽原子力発電所 核物質防護に関する不適合情報(6月22日発表)

(別紙1)東京電力ホールディングス株式会社の公表資料

東京電力ホールディングス(株) 柏崎刈羽原子力発電所

核物質防護に関する不適合情報

2023年6月20日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

1. 公表区分Ⅰ 0件

2. 公表区分Ⅱ 0件

3. 公表区分Ⅲ 1件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	追加検査において、検知機器における通信システムの構成を変更した際の性能試験が一部未実施であることが確認された。同日、当該箇所での性能試験を実施し、設備上問題がないことを確認した。原因は、性能試験の対象が明確に検査実施箇所に伝わっておらず、対象リストのチェック漏れが発生したことによるもの。対象のリスト化手順を明確化し、実施した性能試験と作成した対象リストをダブルチェックする運用とした。	2023/4/5	

4. 公表区分その他 6件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	監視カメラの付属機器が、正常に動作しないことを確認した。監視機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を調整し、正常な状態に復旧した。	2023/2/27	
2	核物質防護上の扉が、正常に開錠できないことを確認した。障壁機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2023/3/12	
3	防護区域境界の点検で、金属探知器が発報し、未許可の携帯電話を発見した。周辺防護区域境界での点検では、入域する協力企業作業員が所持していることを失念し、金属探知器も反応せず見落とされたもの。 対策として、周辺防護区域境界の金属探知器の感度を高める調整をした。	2023/3/16	
4	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2023/3/24	
5	監視カメラの付属機器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を調整し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2021/12/25	
6	核物質防護上の障壁に破損を確認したことから、当該破損箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、侵入防止機能は維持できていたこと及び現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認済み。	2023/4/24	